

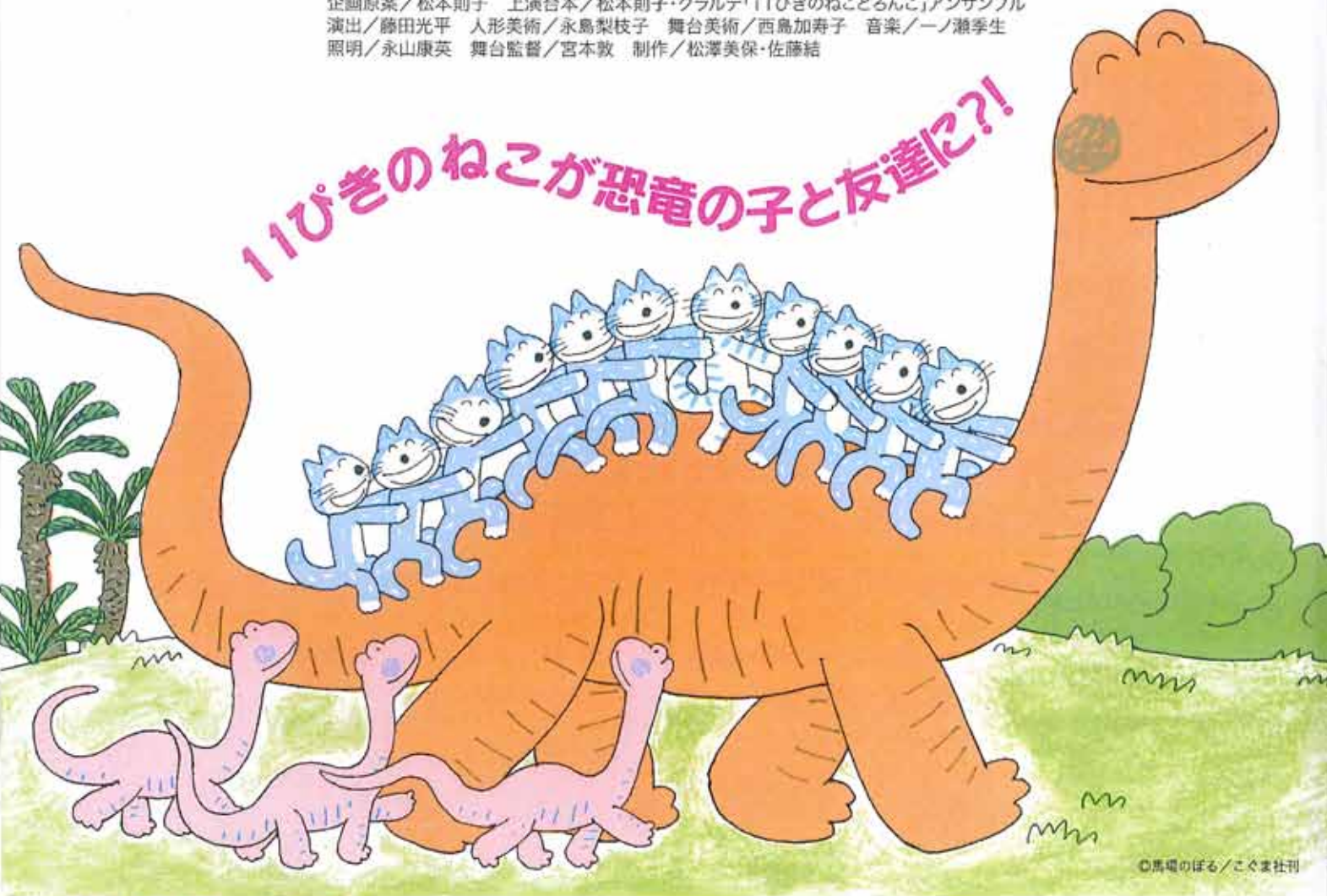
人形劇団 クラルテ 第109回公演こどもの劇場

# 11ぴきのねこ どろんこ

原作/馬場のぼる(こくま社刊)

企画原案/松本則子 上演台本/松本則子・クラルテ「11ぴきのねこどろんこ」アンサンブル  
演出/藤田光平 人形美術/永島梨枝子 舞台美術/西島加寿子 音楽/一ノ瀬季生  
照明/永山康英 舞台監督/宮本敦 制作/松澤美保・佐藤結

11ぴきのねこが恐竜の子と友達に?!



©馬場のぼる/こくま社刊

2013年 **12月23日**(月・祝)  
開演PM1:30(開場30分前)  
**たんば田園交響ホール**  
TEL 079-552-3600 篠山市北新町41

主催/篠山市・人形劇団クラルテ  
後援/篠山チルドレンズミュージアム

■入場料(税込)【全席指定】  
前売/《一般》………大人 2,300円 中学生以下 1,200円  
《友の会割引・グループ割引(5名以上)》……大人 2,000円 中学生以下 1,000円  
当日/各300円増し(3歳以上有料)

2歳以下、着上無料。クラルテとものかい割引あります。  
※前売券発売の場合、当日券はございません。お早目にご予約下さい。

### プレイガイド

◆篠山市内(079)  
篠山チルドレンズミュージアム…554-6000  
小山書店…552-0019  
木下楽器…552-0321  
森本書房…552-0125  
紙ふうせん…554-3340  
篠山市民センター…554-2188  
パザールタウン篠山NEWS館 594-3700  
JA丹波ささやま旅行センター…594-3090  
TUTAYA 篠山店…590-2451  
黒豆の館…590-8077  
こんだ業師温泉めぐもりの郷…590-3377

◆丹波市内(0795)  
春日文化ホール…74-1050  
かいばら観光案内所…73-0303  
丹波の森公苑…72-2127  
◆三田市内(079)  
阪急オアシスえるむプラザ店…565-1148  
郷の音ホール…559-8101  
◆その他  
ローソンチケット 0570-084-005  
(Lコード 59956)  
※発売前日の受付は10時から、以降は24時間受付

チケット発売日 友の会先行予約 9月29日(日)  
一般発売日 10月6日(日)

チケット販売  
お問い合わせ

篠山市立たんば田園交響ホール ☎079-552-3600 人形劇団クラルテ ☎06-6685-5601 AM10:00~PM5:30 (日・祝休み)

# 11ぴきのねこ どろんこ

原作／馬場のぼる(こぐま社刊)

企画原案／松本則子

上演台本／松本則子・クラルテ「11ぴきのねこどろんこ」アンサンブル

演出／藤田光平 人形美術／永島梨枝子 舞台美術／西島加寿子

音楽／一ノ瀬季生 照明／永山康英 舞台監督／宮本敦

制作／松澤美保・佐藤結

## ものがたり

11ぴきのねこは山小屋で暮らしています。ある日、ねこ達がたんけんをしていると、泥沼で遊ぶ恐竜の子どもに出会います。そして、その子が崖から落ちて泣いていたところを助け、ジャブと名付けます。

大きくなったジャブがねこ達の家に来て、11ぴきを背中に乗せてくれました。ジャブはそのまま大好きな泥沼に飛び込みます。ねこ達はどろんこが大の苦手なのに・・・、どろだらけ!

しばらくして、今度はジャブが山からたくさんのりんごを持ってやってきました。ねこ達が喜んで、ねこ達の大切な食糧の魚と勝手に交換して行ってしまいました。怒ったねこ達が“魚のかたきうち”をすると、それからジャブは姿を見せなくなります。ねこ達はなんだか寂しくなり、来る日も来る日もジャブを待ちました。

季節は流れ次の年、ジャブは大人になってねこ達の元にやってきました。



ささやま



篠山チルドレンズミュージアム

『篠山チルドレンズミュージアム(ちるみゅー)の

イノッキーが、子どもたちに、

サンタからのプレゼントを持ってやってくるよ』

ロビーでは、楽しい昔あそびも体験できます。

## 演出にあたって

どろんこ遊びが子どもたちの成長にとって大事である、と言われていますが、現代ではなかなか困難なようです。

「11ぴきのねこどろんこ」には子どもたちの豊かな成長を強く願う、原作者馬場のぼるさんの思いが込められています。それは、わたしたち人形劇団クラルテの思いと重なります。

自分たちの気の向くまま、欲望のままに、旅をし、冒険をし、作戦をたて・・・結局、トホホな結果に終わって、それでも決してへこたれない、11ぴきのねこ。今回のお話では、ジャブと出会います。恐竜の子ども、ジャブはどろんこ遊びが大好き。

どろんこにまみれ、大地とたわむれ、どんどん大きくなるジャブには、豊かな生命力、大きな包容力を感じます。ジャブは、11ぴきのねこたちをそのまま受けとめます。どろんこ遊びの大嫌いなねこたちが、そんなジャブと触れあい、どう変わっていくのか。

どろんこ遊びの好きなひと、嫌いなひと、ジャブの気持ち、ねこたちの気持ちになって、この人形劇を観てくれたら、そして、最後にはどろんこ遊びが大好きになってくれたら、と思います。

演出／藤田 光平